

## 資料 1

吉岡中学校、笠懸南中学校両校の単元の評価規準

【 】内は笠懸南中の題材における評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) 感謝祭【野外学習】につ いてや作文の発表を興味を もって聞いている。  (コミュニケーションの継続) 教師の説明や作文の発表 が理解できない時、説明を 求めたり聞き返そうとして いる。		(正確な聞き取り) 感謝祭【野外学習】の ことや作文の発表で聞い た内容について正しく理 解することができる。 (適切な聞き取り) 感謝祭【野外学習】の ことや作文の発表を聞い て、内容について大切な 部分を聞き取ることがで きる。	(言語についての知識) 既習の語句や文を聞き 分ける知識を身に付けて いる。  (文化についての理解) 感謝祭の起源や過ごし 方【野外活動やトピック について】などの風俗習 慣について理解してい る。
話すこと	(言語活動への取組) 間違つことを恐れず、自 分や友達のことについて話 そうとしている。  (コミュニケーションの継続)) 理解してもらえるように 工夫して話そうとしている。	(正確な発話) 話そうとすることを聞 き手に正確に伝えること ができる。  (適切な発話) 適切な速さや声の大き さで話すことができる。		(言語についての知識) 単語の発音の違いなど 語句や文を正しく発音す る知識を身に付けてい る。 (文化についての理解) 感謝祭の起源や過ごし 方【野外活動やトピック】 について説明することが できる。
読むこと	(言語活動への取組) 感謝祭【野外学習】や作 文の内容について、感想や 意見を述べようとしている。  (コミュニケーションの継続) 本文の音読や作文の発表 において、難しい単語や言 い回しがあっても、読み続 けようとしている。	(正確な音読) 正しい強勢、イントネ ーション、区切りなどを 用いて音読できる。  (適切な音読) 本文の音読や作文の発 表において、相手にわか りやすいように適切な音 量や速さで読むことが できる。	(正確な読みとり) 感謝祭【野外学習】の ことや作文において、書 かれた内容を正しく読み とることができる。  (適切な読みとり) 感謝祭【野外学習】の ことや作文において、大 量や速さで読み取ること ができる。	(言語についての知識) 単語、語句、文を正し く発音する知識を身に付 けている。 【不定詞が使われている 場面や状況が理解でき る。】 (文化についての理解) 感謝祭やフードライ ブの目的【野外活動やト ピック】について内容を 理解している。
書くこと	(言語活動への取組) 既習の表現を使ったり資 料を調べたりして自分の思 いを意欲的に書こうとして いる。  (コミュニケーションの継続) 別の語句や表現で言い換 えたり説明したり、伝える ための工夫をしている。	(正確な筆記) 内容や展開を工夫して 自分の思いを正しく書く ことができる。  (適切な筆記) 相手に伝わるように内 容を整理し、必要な分量 を書くことができる。		(言語についての知識) 不定詞を含め、英文を 書くための適切な表現や 言い換えるための既習の 表現を知っている。 (文化についての理解) 感謝祭の起源や過ごし 方【野外活動やトピック】 について簡単な英語で書 くことができる。

## 資料 2

(1)吉岡中学校における指導と評価の計画(全9時間)

過程	時間	ねらい( )と学習活動( )	指導上の留意点及び支援の工夫 (「おおむね満足」に達していない生徒への 手だて)	単元の評 価規準と の関連	具体的評価規準 B「おおむね満足」A「十分満足」 (評価方法)
つ	1	学習内容について知る。 ① L.7の学習内容を知る。  不定詞について理解する。 ② 本文に関する絵を見なが ら教師の説明を聞き、不定 詞の形と意味を知る。(名詞 的用法・副詞的用法)  ③ 自己評価シート に本時 の記録を書く。	学習計画表で学習の流れがわかるようにする。  教科書の流れに沿った絵と基本本文を書いたセ ンテンスカードを用い内容理解を助ける。 like to と like の表現を比較して不定詞の特徴 に気づくようにする。 不定詞の部分を何度もリピートしてセンテ ンスカードの to の存在に気づかせる。	ア・ ウ・	話される内容について意味を理解し ている。 A 話された内容から何を言おうとし ているか聞き取れている。 B 日本語の説明を参考にして何を言 おうとしているか類推できている。 (観察、自己評価シート)
	1	前時の復習をする。 ④ 絵を見て Q&A で基本文 の復習をする。  不定詞について理解する。 ⑤ § C の内容を表す絵を見 ながら英文を聞き形容詞的 用法の意味を知る。  不定詞の3つの用法の違	前回の自己評価シート の質問についてわか るようにする。 基本本文の内容がわかるような簡単な質問で尋 ねる。 日本語で尋ね基本本文が定着できるようにする。  基本本文の意味を類推させるヒントを使う。 今までの意味と違うことを日本語で説明する。 センテンスカードで修飾の働きに気づかせる。 日本語の例(遊ぶ時間、貰うお金など)をい くつかあげて理解を助ける。	ア・ ウ・	話される内容について意味を理解し ている。 A 話された内容から何を言おうとし ているか聞き取れている。 B 日本語の説明を参考にして何を言 おうとしているか類推できている。 (観察、自己評価シート)

む	<p>いを理解する。  <b>6</b> ワークシート で3用法について練習問題をやる。</p>	<p>絵を使った問題は全員で答えをリポートして基本の定着を図る。  わからないときは用法の違いについて説明した表現のプリント を使うよう伝える。</p>	エ -	<p>ワークシート の絵を見て不定詞の文を書いている。  A 3用法について正しい文を書いている。  B 3用法の基本文を書いている。  (ワークシート 、自己評価シート )</p>
	<p><b>7</b> 自己評価シート に本時の記録を書く。</p>	<p>自分の書くトピックを選ぶ。決定している生徒にはうかんだアイデアをメモさせる。</p>		
過	<p>前時の復習をする。  感謝祭の過ごし方、起源について理解する。  <b>8</b> L.7 A ~ C の新出単語・本文について音読練習をする。</p>	<p>前回の自己評価シート の質問についてわかるようにする。  buzz reading で読めない単語や語句を把握し、全体で練習する。  教科書にカタカナをふって読むようにする。</p>	エ -	<p>教師の発音をモデルに読んでいる。  A 単語や語句を正しく読んでいる。  B モデルに近づこうと読んでいる。  (観察)</p>
	<p>登場人物の雰囲気が出せるように音読する。  <b>9</b> ペアで本文の音読をする。  <b>10</b> ワークシート を用いながら内容の確認をする。  <b>11</b> 自己評価シート に本時の記録を書く。</p>	<p>登場人物の関係に気づかせ、インタビューや生徒の雰囲気がでるよう伝える。  期間巡視で読めない単語や文を個人的に練習し読めるようにする。  意味がわかりにくいところは表現のプリントを見るように伝える。  プリントを見てわからないときは個別指導し一緒に考える。</p>	イ - ア - ウ - エ -	<p>雰囲気がでるように読んでいる。  A リポートの様子が表れるように読んでいる。  B 間違いを恐れずペアで協力して読んでいる。  (観察)  感謝祭について内容を読みとっている。  A 特徴的なことを読みとっている。  B 歴史的な背景を読みとっている。  (発言、ワークシート 、自己評価シート )</p>
程	<p><b>見通し1</b>  書きたいことについてアイデアを作る。  <b>12</b> 同じトピックを選んだ生徒同士でグループになり、例題を見てウェビングの作り方を知る。</p>	<p>前回の自己評価シート の質問についてわかるようにする。  自己評価シート を参考に、英語が得意な生徒がリーダーになるようにグループ作りしておく。  個人の作業をする前に教師が例題を提示し、作業がスムーズにいくようにする。  生徒同士で相談させいろいろなアイデアが出るようにする。</p>		
	<p><b>13</b> ワークシート に自分で書きたいことのウェビングとメモを作る。  A My Dream  B Japanese Event  C About Thanksgiving Day  <b>14</b> 自己評価シート に本時の記録を書く。</p>	<p>例題を見てウェビングの段階から単語で書けるようにする。  作業の早い生徒は他の生徒を手伝うよう伝える。  アイデアがうかばない生徒には表現のプリントを見るように伝える。  期間巡視をしながら、良いアイデアがうかぶように教師からいろいろ質問する。</p>	ア -	<p>自分の思いを具体的にイメージしようとし、意欲的に書こうとしている。  A 自分のアイデアをどんどんメモして原稿を作ろうとしている。  B グループで何について書いたらよいかアイデアを出し合ったり、ウェビングの例をみて単語を当てはめようとしている。  (観察、自己評価シート 、ワークシート )</p>
1	<p>メモから書きたいことを明確にする。  <b>15</b> ワークシート を用いて自分で書きたいことのアアイデアをまとめる。  A My Dream  B Japanese Event  C About Thanksgiving Day  <b>16</b> 自己評価シート に本時の記録を書く。</p>	<p>自己評価シート の質問についてわかるようにする。  前回のウェビングから使えそうな表現を日本語、英語混じりの文で書けるようにする。  文作りが困難な場合は、基本の書き方を提示した表現プリント を参考に、具体化できるようにする。  単語、語順、英文のどの段階でわからなかったか、書きたいけれど英文にできなかった文を記録してアドバイスをもらう。</p>	ア -	<p>自分の思いが具体的に伝わるような単語や表現を見つけている。  A アイデアから原稿を作り、辞書や教科書からふさわしい単語や表現を見つけている。  B グループで協力してアイデアを探し、単語を見つけている。  (観察、自己評価シート 、ワークシート )</p>
	<p><b>見通し2</b>  書きたいことについて、単語や語句など適切な表現を用いて表す。  <b>17</b> 文を作るのに同じ課題をもつ生徒同士でグループを作り、ワークシート を使って英文作りをする(課題)  A 使う単語を考える  B 語順を考える</p>	<p>前時の自己評価シート をもとに課題別のグループを作っておく。  前時の自己評価シート の質問がわかるようにする。  それぞれの課題についてグループで相談しながら書けるようにする。  自分の課題がクリアできない場合は課題別の表現プリント を参考にしよう伝える。  個別指導でアイデアを生かせるところを探してオリジナルな部分を書けるようにする。</p>	イ - エ -	<p>トピックについてまとめたことを適切な英文で書いている。  A 不定詞の場所、つなぎ言葉など工夫して書いている。  B グループで表現プリントを使いながら書いている。  (観察、自己評価シート 、ワークシ</p>
追				
究				
す				

る 過 程	1	<p>C よりよい表現を考える 18 自己評価シート に本時の記録を書く。</p> <p>書いたものについてグループで表現を見直す。 19 表現にどんな工夫を加えたらよいかグループで相談し、ワークシート にメモ書きする。</p> <p>20 作品の推敲をする。</p> <p>21 自己評価シート に本時の記録を書く。</p>	<p>書きたいけれど英文にできなかった文を記録しアドバイスをもらう。</p> <p>前時の自己評価シート から、言えなかった表現について解説し、クラスで確認する。</p> <p>グループ内で順番に作品を音読し、疑問点、わかった点について伝えられるようにする。 作品を読み比べ、ワークシート をコピーしたものにメモ書きし、友達に伝えられるようにする。 作文の内容理解が難しいときは感想を伝えるようにする。</p> <p>交換した意見をもとにしていい表現が書けるようにする。 発表に不安のある場合は個別指導で練習し読めるようにする。</p> <p>うまく伝わらなかった文や読みの難しいところを記録しておく。</p>	<p>ア -</p> <p>イ -</p> <p>エ -</p>	<p>ート )</p> <p>グループでできあがった作品を読み、感想や意見を述べようとしている。 A 良いところや改善点を複数伝えようとしている。 B 良いところや改善点を伝えようとしている。 (観察、自己評価シート、ワークシート ) わかりやすい表現を用いて書くことができる。 A 自分の言い足りないことや友達のアドバイスから質、量ともによりよい文を書いている。 B 相手に分かる表現で書いている。 (ワークシート ) 適切な表現について知る。 A グループで協力して適切な表現を知り、自分の言葉で書いている。 B 表現プリントの作品例や教師の支援から英文を書くための適切な表現を知る。(ワークシート )</p>
	1	<p><b>見通し3</b> 書いた作品を相手にわかるように伝える。 22 グループ内で作品の発表をする。</p> <p>23 お互いの作品について自己評価シート を用いて評価し合う。</p> <p>英語で表現することの楽しさに気づく 24 学習の取組についてグループで話し合いをし、自己評価シート に感想や反省を書く。</p>	<p>違うトピックを選んだ生徒同士でグループを作る。</p> <p>発表前に練習時間をとり、スピードやイントネーションに注意して読めるようにする。 うまく読めないときはグループ全員で練習して読めるようにする。</p> <p>良かったところを書くよう伝える。 聞き取れた内容を書くように伝える。</p> <p>ワークシートから自分の作品の量や内容がどう変わったかを見て考えるように伝える。 自己評価シート に感想を書く時間を十分とる。 アンケートで答える質問も入れる。 自分ががんばったこと、覚えた文を中心に書かせる。</p>	<p>ア -</p> <p>イ -</p> <p>エ -</p> <p>ア -</p>	<p>工夫して伝えている。 A わかりやすいように相手を見て話したり、強調したりして発表している。 B わかりやすい速度と音量で発表している。 (発表時の観察、自己評価シート ~ )</p> <p>英語で書いて伝えることの楽しさを理解する。 A 表現の楽しさについて具体的に感想が述べられ、課題について前向きになっている。 B 表現の楽しさについて具体的に感想が述べられている。 (自己評価シート ~、ワークシート ~ )</p>

(2)笠懸町立笠懸南中学校における指導と評価の計画(全9時間)

過程	時間	ねらい( )と 学習活動( )	指導上の留意点及び支援の工夫 (「おおむね満足」に達していない生徒への手だて)	単元の評価 規準との 関連	具体的評価規準 B「おおむね満足」A「十分満足」 (評価方法)
つ か	1	<p>単元の学習内容について知り、不定詞について理解する。 1 PROGRAM 6 の学習内容を知る。 ワークシート を配布 2 課全体の新出単語を確認し単語テストの準備をさせる。</p> <p>3 不定詞の用法がわかり、場に応じて使うことができる。 (副詞的用法)</p> <p>4 自己評価シート で学習を振り返る。</p>	<p>自己評価シート を配布し本時の目標と評価のめやすを確認するよう促す。 ポートフォリオの趣旨を説明し学習課題を把握できるようにする。 学習計画表で学習の流れがわかるようにする。 単語練習を目標を持って練習できるように課全体の新出単語を単語シートで導入する。 不定詞の用法を絵を用いて簡単に説明する。 (できるだけトピック作文に活用できるように使用場面を考えながら導入する。) 導入に於いてできるだけ音声による練習を用いて定着を図る。 to see と see の表現を比較して不定詞の特徴に気づけるようにする。 ポイントのなる言葉を変えただけで文ができることを助言する。 絵を使ったワークシート で用法を確認し、学習の自己評価をする。(評価規準については始業の段階で提示する)</p>	<p>エ -</p> <p>エ -</p> <p>ア -</p> <p>イ -</p>	<p>単語の意味と読み方がわかる。</p> <p>不定詞の形と使う場面がわかり、絵を見て場に応じて使うことができる。 A 場面に応じた短い文を創意工夫して言うことができる。 B 場面に応じた短い文を言うことができる。 (観察)(ワークシート、自己評価シート ) ワークシートを見て不定詞を使った文を作り友だちと会話することができる。 A 場面に応じた短い文を作り、相づちを入れながらすすんで会話ができる。 B 例文の言葉を置き換えて文を作り友だちと会話することができる。 (観察)(ワークシート、自己評価シート )</p>
		<p>不定詞について理解する。</p>	<p>自己評価シート を配布し本時の目標と評価のめやすを確認するよう促す。</p>		

む	<p>5 不定詞の用法がわかり、場に応じて使うことができる。(名詞的用法・形容詞的用法)ワークシートを配布。</p> <p>6 トピックを決める A 夢 B 体験活動について C 私のお薦めの校外学習</p> <p>7 自己評価シートで学習を振り返る。</p>	<p>自己評価シートをもとに導入部分で前時の復習を取り入れ、その後名詞的・形容詞的用法の不定詞を説明する。 前回の基本文について日本語で尋ね定着を促す。 不定詞の用法を絵を用いて簡単に説明する。(できるだけトピック作文に活用できるように使用場面を考えさせながら導入する) 導入に於いてできるだけ音声による練習を用いて定着を図る。 評価のめやすを確認し具体的に考えられるようにする。 支援プリントを配布し例を参考に決められるようにする。 ポイントのなる言葉を変えただけで文ができることを助言する。</p> <p>絵を使ったワークシートで用法を確認し、学習の自己評価をする。(評価規準については始業の段階で提示する。)</p>	<p>ア - エ -</p> <p>イ - エ -</p>	<p>不定詞の形と使う場面がわかり、絵を見て場に応じて使うことができる。 A 場面に応じた短い文を創意工夫して言うことができる。 B 場面に応じた短い文を言うことができる。(観察)(ワークシート、自己評価シート) ワークシートを見て不定詞を使った文を作り友だちと会話することができる。 A 場面に応じた短い文を作り、相づちを入れながらすすんで会話ができる。 B 例文の言葉を置き換えて文を作り友だちと会話することができる。(観察)(ワークシート、自己評価シート)</p>
過	<p>PROGRAM 6の内容を理解する。</p> <p>8 PROGRAM 6-1, 2の新出単語、本文の音読、内容について知るワークシートを配布。</p> <p>9 自己評価シートで学習を振り返る。</p>	<p>自己評価シートを配布し本時の目標と評価のめやすを確認するよう促す。 自己評価シートをもとに導入部分で前時の復習を取り入れる。 ワークシートで1~2の内容について確認し理解を図る。 聞き取りのポイント(誰が、何を、どうしてなど)を絞って聞きとれるようにする。 読み取りのポイント(誰が、何を、どうしてなど)を絞って読めるようにする。</p> <p>音読練習については音読の観点を示し自己評価できるようにする。 buzz readingの段階で読めない単語や語句を把握し、個々に指導する。</p> <p>ワークシートで内容を確認し、学習の自己評価をする。(評価規準については始業の段階で提示する)</p>	<p>ウ - エ -</p> <p>ウ - エ -</p> <p>イ -</p>	<p>教科書の内容を聞いて理解することができる。 A 野外活動について大切な部分を場面や状況に応じて聞き取ることができる B 野外活動について大切な部分を聞き取ることができる (観察)(ワークシート、自己評価シート) 教科書の内容を読んで理解することができる。 A 教科書で読んだ内容について読みとることができる。 B ワークシートの答えを確認しながら理解することができる。 (観察)(ワークシート、自己評価シート) 登場人物の雰囲気を出しながら正しく教科書の音読ができる。 A 登場人物の様子や気持ちが表れるように創意工夫して読んでいる。 B 間違いを恐れずに明るい感じで読んでいる。(観察)(ワークシート、自己評価シート)</p>
程	<p>10 PROGRAM 6-3の新出単語、本文の音読、内容について知り、Check and Useで課全体の復習をする</p> <p>11 自己評価シートで学習を振り返る。</p>	<p>自己評価シートを配布し本時の目標と評価のめやすを確認するよう促す。 自己評価シートをもとに導入部分で前時の復習を取り入れる。 ワークシートで3の内容について確認し理解を図る。 聞き取りのポイント(誰が、何を、どうしてなど)を絞って聞きとれるようにする。 読み取りのポイント(誰が、何を、どうしてなど)を絞って読めるようにする。</p> <p>音読練習については音読の観点を示し自己評価できるようにする。 buzz readingの段階で読めない単語や語句を把握し、個々に指導する。 ワークシートで内容を確認し、学習の自己評価をする。(評価規準については始業の段階で提示する)</p>	<p>ウ - エ -</p> <p>ウ - エ -</p> <p>イ -</p>	<p>教科書の内容を聞いて理解することができる。 A 野外活動について大切な部分を場面や状況に応じて聞き取ることができる B 野外活動について大切な部分を聞き取ることができる (観察)(ワークシート、自己評価シート) 教科書の内容を読んで理解することができる。 A 教科書で読んだ内容について読みとることができる。 B ワークシートの答えを確認しながら理解することができる。 (観察)(ワークシート、自己評価シート) 登場人物の雰囲気を出しながら正しく教科書の音読ができる。 A 登場人物の様子や気持ちが表れるように創意工夫して読んでいる。 B 間違いを恐れずに明るい感じで読んでいる。(観察)(ワークシート、自己評価シート)</p>
1	<p>書きたいことを明確にする。</p> <p>12 同じトピックを選んだ同士でグループを作りワークシートにアイデアを出し、書きたいことをメモしたり図にしたりして、もとなる日本語をに作る。 A 夢 B 体験活動について C 私のお薦めの校外学習</p> <p>13 自己評価シートで学習を振り返る。</p>	<p>自己評価シートをもとに導入部分で前時の復習を取り入れる。 自己評価シートを配布し本時の目標と評価のめやすを確認するよう促す。 ウエビングや構想メモで班で他の人のアイデアも追加しイメージが膨らむようにする。 ウエビングが書けない生徒には支援プリントでウエビングの基本例と、作例を示し参考にし、自分の経験を思い出しながら感想を書いたり意見を書いたりできるようにする。また、なりきり作文や、教科書内容について意見を書いたものも良いことを知らせる。 ワークシートで内容を確認し、学習の自己評価をする。また表現の方法について発見した課題を自己評価シートに記入させる。</p>	<p>ア -</p>	<p>自分の選んだトピックについて書こうと思うことを具体的にイメージしようとしている。 A 自分のアイデアをどんだんメモして日本語の原稿を作ろうとしている B グループで何について書いたらよいかアイデアを出し合ったりウエビングの基本例に単語を当てはめようとしている。 (観察)(自己評価シート)(ワークシート)(ワークシート)</p>
1	<p>書きたいことを明確にする。</p> <p>14 同じトピックを選んだ同士でグループを作り、作成した日本語からワークシートに英文を作り表現の方法について課</p>	<p>自己評価シートを配布し本時の目標と評価のめやすを確認するよう促す。 自己評価シートをもとに導入部分で前時の復習を取り入れる。 自分の思いを明確にし、自分なりに英語にしてみる。 この段階の英文作は自分の表現の方法についての課題発見を目的にしている。書けないこと</p>	<p>ア - イ -</p>	<p>作文の内容や展開を工夫して自分なりに書くことができる。 A アイデアから日本語の原稿を作り、辞書や教科書からふさわしい単語や表現を見つけて書</p>

	<p>題を発見する。</p> <p>15 自己評価シートで学習を振り返る。</p>	<p>の課題発見のためなのでわからないところは日本語でよい。</p> <p>支援プリントにある作品例の、よい点を具体的に説明し、書くことをまとめられるようにする。</p> <p>ワークシートで内容を確認し、学習の自己評価をする。また表現の方法について発見した課題を自己評価シートに記入させる。</p>	<p>いている</p> <p>B 基本例のフォーマットに単語を当てはめて、自分なりに書いている。</p> <p>(観察)(自己評価シート)(ワークシート)</p>
追究する	<p>書きたいことを単語や語句など適切な表現を用いて表す。</p> <p>16 文を作るのに同じ課題同士でグループを作り学び合いながら課題を解決し、ワークシートへ英文を書く。</p> <p>A 使う単語を考える。</p> <p>B 語順を考える。</p> <p>C よりよい表現を考える。</p> <p>17 自己評価シートで学習を振り返る。</p>	<p>前時の自己評価シートをもとに、単語、語順、表現について話し合いがしやすいグループを作る。</p> <p>それぞれ支援プリントを用いて作業できるようにする。</p> <p>A(辞書、教科書から適切な表現を見つける)</p> <p>B(表現集を見て、まとまった語句から考える)</p> <p>C(既習の表現で言い換える)</p> <p>支援プリントの作品例から自分のオリジナルになるように個別指導で変えられるところをできるだけ探すようにする。また、なるべく既習の言葉で置き換えられないか考えるようにする。</p> <p>自己評価シートに言いたかったが言えなかった表現も記録できるようにする。</p> <p>ワークシートで学習内容を確認し、学習の自己評価をする。また表現の方法について発見した課題を自己評価シートに記入させる。</p>	<p>イ -</p> <p>エ -</p> <p>作文の内容や展開を工夫して書くことができる。</p> <p>A グループで話し合いながら自分の課題を解決し作文の内容や展開を工夫して書くことができる。</p> <p>B 支援シートの作品例から自分のオリジナルになるように内容や展開を工夫して書くことができる。</p> <p>(観察)(自己評価シート)(ワークシート)</p>
	<p>書いたものについて表現を見直す。</p> <p>18 表現にどんな工夫をしたらよいかについてグループで相談し合う。</p> <p>19 英文を推敲する。</p> <p>20 自己評価シートで学習を振り返る。</p>	<p>前時の評価シートから、生徒が言えなかった表現について解説する。</p> <p>「書く」活動にグループ学習を取り入れて、学び合う場面を作り出す。相手の文にアドバイスを与える場面ではより分かりやすくするためどうしたらよいかを考えさせる。またお互いを意識することによりコミュニケーションにつなげたい。</p> <p>どうしても改善点が見つからない場合は、自分が真似して使ってみようと思う良いところを見つけて前向きな評価を与えさせたい。</p> <p>「ふりかえりシート」の変容を追いながら、生徒の課題を把握し、個に応じた支援を与え、出来たことに対して前向きな評価を与えるようにする。</p> <p>既習の英語を使って相手に伝わる英文を書くよう助言し、推敲のヒントにする。</p> <p>支援プリントの作品例を自分の文にかえたりしながら英文を書くための適切な表現を示す。</p> <p>ワークシートで内容を確認し、学習の自己評価をする。</p>	<p>ア -</p> <p>イ -</p> <p>エ -</p> <p>読んだことについて感想や意見を述べようとしている。</p> <p>A 相手の良いところや改善点を複数相手に伝えようとしている。</p> <p>B 相手の良いところや改善点を伝えようとしている。</p> <p>相手に伝わるように、わかりやすい表現を用いて書くことができる。</p> <p>A 自分の言い足りないことや友だちのアドバイスに気をつけて質、量ともによりよい文を書いている</p> <p>B 相手にわかる表現で書いている</p> <p>(観察)(自己評価シート)(ワークシート)</p> <p>英文を書くための適切な表現を知る。</p> <p>A グループで話し合いをヒントにし、適切な言語表現に自ら気づく</p> <p>B 支援シートの作品例や教師の支援から英文を書くための適切な表現を知る。</p> <p>(観察)(自己評価シート)(ワークシート)</p>
広げる	<p>書いたものを相手にわかるように伝える。</p> <p>21 グループ内で作品の発表をし、お互いの作品について評価し合う。</p> <p>英語で表現することの楽しさに気づく。</p> <p>22 学習の取組について振り返り、学習の成果と課題を確認する。</p>	<p>違うトピックを選んだ者同士でグループを作る際になるべく今まで組んでいない生徒と組むようにする。</p> <p>教師が発表の仕方についてデモンストレーションをして、発表のポイントを示す。</p> <p>声の大きさや発音よりも、作文の内容がわかり易かったかどうかを聞き取るよう助言する。</p> <p>相手にわかってもらうようにややゆっくりなスピードで読むように助言する。</p> <p>うまく読めないときにはカタカナをふってでも伝えられた達成感を味わうようにする。</p> <p>発表のわからなかったり聞き取れなかったりした文は聞き直しをするよう伝える。どうしてもわからない時は概要を説明してもらう。</p> <p>発表者には自分の発表の感想を書くようにする。</p> <p>自己評価シートに感想を書く際には良かったところを中心に書くように助言する。</p> <p>自己評価シートに感想を書く時間を十分に取る。</p>	<p>ア -</p> <p>イ -</p> <p>エ -</p> <p>ア -</p> <p>理解を容易にするために相手を見て話したり、くり返したりして伝えるなどの工夫をしている。</p> <p>A 相手にわかりやすく工夫し、発音等にも気をつけて発表している。</p> <p>B 相手にわかりやすく発表している</p> <p>(発表の観察)(自己評価シート ~)</p> <p>英語で書いて伝えることの楽しさを理解する。</p> <p>A 英語で表現する楽しさについて具体的に感想が述べられていて、自分の課題を解決するためにどう生かせるかを見つけている。</p> <p>B 英語で表現する楽しさについて具体的に感想が述べられている。</p> <p>(発表の観察)(自己評価シート ~)</p>

資料 3 (1)吉岡中学校における指導案(検証に関わる5時間分)

英語科学習指導案 第5時 5/9

平成16年10月27日(水)第4校時

授業者 金井美規子 (2年5組教室)

1 本時の目標

ウェビングを用いてトピックについて自分の書きたいことのアイディアを作る。

書きたいことを具体的に単語に直して考える。

2 準備

ワークシート、支援シート、吹き出し用の紙、自己評価シート、教科書基本本文のプリント、ストップウォッチ

3 展開 \*あらかじめ教師が分けたグループで座るよう指示しておく。

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 *「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	学習活動における具体的 評価規準【単元の評価規準 との関連】 (評価方法)
2	greeting	不定詞を用いた質問に答えさせる。 ( Do you like to write English / sing a song ?など )	
10	前時の復習をする。	自己評価シートの疑問について答える。 教科書の基本本文を read & look up する。(30秒で2回)	
10	教師が示す例題でウェビングから文を作るまでの練習をする。	黒板に例題用の吹き出しを作り、「私の夢」を例にウェビングの作り方を確認させる。 既習の単語は全員でリピートさせる。 なるべく語句や英文で言わせるようにさせる。 *表現のプリントを用いてはじめての書き出しとその理由(説明)を書くようにアドバイスする。	
20	ワークシートに書きたいことのウェビングを作る。	例題を参考に思い浮かぶ単語や語句を書かせる。 日本語で書いた生徒にはその中から英語で言えそうな単語や語句をグループで考えさせる。 作業の早い生徒は英文について考えさせる。 *なかなかアイデアが浮かばない生徒には表現プリントを参考に考えさせる。 *英和辞典、和英辞典を使って調べさせる。 *期間巡視で作業のペースを確認しながら、なりきりの作文や教科書の表現を使っても良いことを伝える。 *言葉の使い方などクラスで知っておいた方がよい質問は、活動を中断させ全員で考えさせる。	自分の思いを具体的にイメージし、意欲的に書こうとしている。 【アー】 A アイディアをどんどんメモして原稿を作ろうとしている B グループで協力してウェビングの単語を書いている (観察、自己評価シート、ワークシート)
	ウェビングができたなら、英語で語句や文を考える。	「～することが好き」「～したい」「私は思います」など実際に習った英文で書けるかどうか考えさせる。	
8	自己評価シートに本時の感想や反省を書く。	書いてみたい文やイメージを補うために何をしたらよいか考えさせる。 *ウェビングを作りながら、自己評価シートの「作文に入りたい文」「うまくできない文」を書かせる。	

1 本時の目標

トピックについて自分の書きたいことのアイディアを作る。  
書きたいことを具体的に単語、英文に直して考える。

2 準備

ワークシート、支援シート、自己評価シート、ストップウォッチ、教科書基本本文のプリント

3 展開

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 *「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	学習活動における具体的な評価規準【単元の評価規準との関連】(評価方法)
5	greeting	不定詞を用いた質問に答えさせる。 ( Do you want to be a champion tomorrow?など)	
10	ペアで基本本文の練習をする。	・教科書の基本本文2文をペアで暗唱する。(30sec)	
	前時の疑問点の解説をする(生徒が英語に直せなかった文を取り上げてクラスで考える)	自己評価シート の疑問について考えさせる。 生徒 Q「お年寄りの役に立ちたいと思う」「100歳まで生きたい」「看護師になることは難しい」「自分の文があっているか自信がない」 大切な表現は全員でリピートして覚えさせる。 ・I think I want to help old poeple. It is difficult to be a nurse.	
25	グループでウェビングを確認し、ワークシート にアイデアをまとめる。  辞書や教科書を使って、ワークシート にアイデアをもとにした作文を書く。	ワークシート のウェビングから必要な言葉を使って、英語 ・日本語のまざった文を10文程度用意させる。 *進度の遅れている生徒には個別に支援する。 *支援シートの作品例を参考にさせる。 *作業の進んでいる生徒はワークシート にどんどん書かせる。  ワークシート のexample、表現のプリント を参考にして、文の構成に注意させ、英文を書かせる。 うまく表現できない原因はどこにあるかを考えながら作業させる。 期間巡視で、生徒の問題点を見取り、単語の使い方、簡単な表現を使うなどアドバイスを与える。 書いた英文は必ず自分で読ませる。 *なかなか作業が進まない生徒には表現のプリントの例を参考にして、単語を置き換えや、空欄に当てはまる単語を考えさせる。 作業が早く進んだ生徒は、班の生徒の手助けをさせる。	自分の思いが具体的に伝わるような単語や表現を見つけている。【アー 】 A アイディアをもとに、辞書や教科書からふさわしい表現を見つけている。 B グループで協力して単語を見つけている。 (観察、自己評価シート、ワークシート )
10	自己評価シート に本時の感想や反省を書く。	書きたい文や自分の課題を考えさせる。 自分の課題が単語、語順、表現のどれなのか選ばせる。 *課題を見つけるのが大変な場合は、できたところまでのワークシートを見て教師が課題を伝える。	

## 1 本時の目標

書きたいことについて、単語や語句など適切な表現を用いて表す。

## 2 準備

ワークシート、支援シート、自己評価シート、生徒作品

## 3 展開 課題別のグループになるよう座席を指示しておく。短縮45分授業

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 *「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	学習活動における具体的な評価規準【単元の評価規準との関連】 (評価方法)
2	greeting	不定詞を用いた質問に答えさせる。 (Do you have anything to do tomorrow?など)	
8	前時の疑問点について考える。	生徒作品(My Dream, Japanese Event)を紹介し文の構成について良い点を提示し自分の作品と比較して考えさせる。 大切な表現については全員でリピートさせる。 (I will write about ~など)	
30	それぞれの課題についてグループで協力しながら、ワークシートに英文を作る。  新たな課題が出てきた場合はもう一度ワークシートに戻って日本語の整理をする。	単語がわからない 協力して和英辞典を使って調べさせる。 表現のプリントの例を参考にさせる。 文の語順がわからない グループで相談して、文を整理させる。必要ならば表現のプリントの例を参考にさせる。 よりよい表現を知りたい どんな文をつけ足せば文が膨らむかグループで相談させる。必要ならば表現のプリントの例や「表現」の欄を参考にさせる。 *できる限り英語科教員の支援を仰ぎ、単語や表現についてアドバイスする。 *作業の進まない生徒には日本語を見直して、書きやすい表現を見つけさせる。 *全員で確認した方がよい表現があったら活動を中断させて、教師の説明を聞かせる。 わからない表現でも、自分が思ったように単語を並べさせる。 書いた英文は必ず口に出して読むようにさせる。 *どうしてもできない場合は班を離れて教師と個別に対応させる。	トピックについてまとめたことを適切な英文で書いている。 【イー】 【エー】 A 不定詞の場所、つなぎ言葉などを工夫して書いている。 B グループで表現プリントを見ながら書いている。 (観察、自己評価シート、ワークシート)
5	自己評価シートに本時の感想や反省を書く。	書いてみたい文や自分が課題に思ったことを考えさせる。	



1 本時の目標

書いたものについて班で読み比べて、相手に伝えるのに適切な表現を知る。

2 準備

ワークシート、支援シート、自己評価シート、班員のワークシートのコピー、ストップウォッチ、ミニボード、活動の説明を書いた用紙

3 展開

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 *「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	学習活動における具体的評価規準【単元の評価規準との関連】 (評価方法)
3	greeting	簡単な質問に答えさせる。	
5	本時の手順について知る。	自己評価シートに書かれた目標について説明し、グループにミニボードを配って活動の手順を理解させる。	
10	班員の作品をコピーしたものを配布し、それぞれ内容を読みとる。	自分の作品を声に出して読ませる。(1min × 5人) 未習の語があったときは、It means ~ の表現を用いて意味を説明させる。 *内容の確認が難しい生徒には、教師が個別に支援して概要を把握させる。	グループ内で作品を読み、感想や意見を述べようとしている。 【アー】 A 良いところや改善点を複数伝えようとしている。 B 良いところや改善点を伝えようとしている。
15	内容をお互いに確認し、よい表現にするための工夫点をコピーした作品に書き込む。	自分がよいと感じたことや工夫したらよいと思われるところ、理解の難しいところを赤ペンで書き込みさせる。 作文の進みが遅い生徒に対して、全員で考えるようにあらかじめアドバイスを与えておく。 *どんなアドバイスをしたらよいかわからないときは、感じたことを欄外に書かせる。	(観察、ワークシート、自己評価シート)
15	それぞれが書き込んだものを作者に渡し、ワークシートに推敲した作品を書く。	正確に書かれている文は直さないようにして、伝わりづらかった部分を考えさせる。 班員から指摘された部分で、書き直した場合は再度読んでもらうようにさせる。 *推敲がはかどらない生徒には個別に指導する。 *読めない単語にはカタカナをふって文を読ませる。 丁寧に読みやすい文字で書かせる。	わかりやすい表現を用いて書ける。 【イー】 A 質、量ともによりよい文を書いている。 B 相手に分かる表現で書いている。 (ワークシート) 適切な表現について知る。【エー】 A グループで協力して適切な表現を知り、自分の言葉で書いている。 B 表現プリントや教師の支援から適切な表現を知る。(観察、ワークシート)
2	自己評価シートに本時の評価を書く。	うまく伝わらなかった文や読みの難しい単語を記録させる。	

1 本時の目標

相手にわかるように音声に注意して伝えられる。  
英語で表現することの楽しさに気づく。

2 準備 ワークシート、感想用紙(付箋紙・大)、ミニボード、発表の仕方・話し合いの仕方を説明した用紙、自己評価シート

3 展開 座席を違うトピックを選んだ生徒同士のグループに分けておく。

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 *「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	学習活動における具体的評価 規準【単元の評価規準との関連】 (評価方法)
5	greeting	「夢」に関する質問をクラスに尋ねる。	
10	前時の疑問点について知る。 発表の仕方について教師のデモンストレーションを見て、説明を聞く。	各自の自己評価シートに書かれたアドバイスを見なおし、作品の仕上げをする。 教師が発表の仕方についてデモンストレーションをして、発表のポイントを示す。 発表、聞き取りのポイントを書いたミニボードを各グループに用意し、方法の確認をさせる。 文の終わりの簡単な表現を確認する。 評価の観点は、声の大きさや発音よりも、作文の内容がわかりやすかったかどうかを聞き取るようにさせる。	
20	自分の原稿を読む練習をする グループ内で作品の発表をする。 付箋に感想を書いて自己評価シートに貼る。	自分の発表原稿をみて練習させる。 *どうしても読めない単語にはカタカナをふらせる。 自分の座席に立ち、はっきり読むようにさせる。 わからない文、聞き取れなかった文は聞き直しをさせる。 *どうしてもわからないときは、発表者の原稿をみながら概要を説明してもらう。 *発表の開始と終了はストップウォッチを使ってグループで一斉に行う。 良かった点を書くようにさせる。 発表者には自分の発表についての感想を書かせる。	自分の思いを工夫して伝えているか。 【アー】【イー】 【エー】 A 相手を見たり、強調したりして工夫をしている。 B わかりやすい速度と音量で発表している。(観察、自己評価シートの感想)
15	学習の取組について自己評価シートに記入する。 書いたことをもとにグループで話し合いをする。 教師から取組についての評価を伝える。	1時間目からの自己評価シートを参考にし、各欄に感想を記入させる。 ワークシートの英文を見直させ、量や内容がどのように変容したかを考えさせる。 教師が司会をし、自己評価シートの項目にそってそれぞれのグループの感想を言わせる。 話し合いのポイントをミニボードに提示し、スムーズに意見交換ができるようにさせる。	英語で書いて伝えることの楽しさを感じることができたか。 【アー】 A 楽しさについて感想が具体的に述べられ、課題について前向きになっている。 B 感想が具体的に述べられている。 (自己評価シート、ワークシート)

(2)笠懸南中学校における指導案(検証に関わる5時間分)

英語科学習指導案 第5時 5/9

平成16年10月12日(火)第3校時  
授業者 太田昌男 (2年B組教室)

1 学習目標

自分の考えや気持ちを具体化し明確に書く  
自分の考えや気持ちをもとに日本語で文を作る

2 準備

自己評価シート、支援プリント、ワークシート(ウェビングや構想メモ用の用紙、作文シート)、単語テスト

3 展開

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫(「おおむね満足」に達していない生徒へ手だて)	学習における具体的評価規準 A「十分満足」B「おおむね満足」【単元の評価規準との関連】(評価方法)
5	英語であいさつし 前時の復習をする	自己評価シートをもとに導入部分で前時の復習を取り入れる。	
10	単語テスト	3分でできるだけ多く書けるようにする	
25	<b>見通し1</b> 同じトピックを選んだ同士でグループ(3~4人)を作りワークシート ウェビングや構想メモを作り、グループで話し合いながら内容をまとめ、もとなる日本語をに作る。 A 夢 B 体験活動について C 私のお薦めの校外学習	自己評価シートを配布し本時の目標と評価のめやすを確認するよう促す。 ウェビングや構想メモで班で他の人のアイデアも追加しイメージが膨らむようにする。 ウェビングが書けない生徒には支援プリントでウェビングの基本例と、作例を示し参考にし、自分の経験を思い出しながら感想を書いたり意見を書いたりできるようにする。また、なりきり作文や、教科書内容について意見を書いたものも良いことを知らせる。 ウェビングが膨らまない生徒には具体的にしたり、思いつくままに記述したり、その理由やすべきことを書けるようにする。 ウェビングが多過ぎてイメージをまとめられない生徒には自分が何を一番伝えたいのか焦点化できるようにする。 出来上がった日本語の構造が出来ていない生徒には自分が何を一番伝えたいのか焦点化できるようにする。	自分の選んだトピックについて書こうと思うことを具体的にイメージしようとしている。 【A- 】 A 自分のアイデアをどんどんメモして日本語の原稿を作ろうとしている B グループで何について書いたらよいかアイデアを出し合ったりウェビングの基本例に単語を当てはめようとしている。 (観察)(自己評価シート)(ワークシート)
10	自己評価シートで学習を振り返る。	ワークシートで内容を確認し、学習の自己評価をする。また表現の方法について発見した課題を自己評価シートに記入させる。	

1 学習目標

自分の考えや気持ちを具体化し明確に英文で書く  
英文を書く場面で自分の課題を見つける

2 準備

自己評価シート、支援プリント、ワークシート (英作文シート1)

3 展開

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 (「おおむね満足」に達していない生徒へ手だて)	学習における具体の評価規準 A「十分満足」B「おおむね満足」【単元の評価規準との関連】(評価方法)
5	英語であいさつし 前時の復習をする	自己評価シートをもとに導入部分で前時の復習を取り入れる。	
35	<b>見通し1</b> 同じトピックを選んだ同士でグループを作り、作成した日本文からワークシートに英文を作り表現の方法について課題を発見する。	自己評価シートを配布し本時の目標と評価のめやすを確認するよう促す。 自分の思いを明確にし、自分なりに英語にしてみる。 この段階の英作文は自分の表現の方法についての課題発見を目的にしている。書けないことの課題発見のためなのでわからないところは日本語でよい。 支援プリントや支援プリントにある作品例の、よい点を具体的に説明し、書くことをまとめられるようにする。 日本語混じりの英文が展開を工夫して書けない生徒にはどうすれば相手にわかりやすいか考えるよう助言する。 英語に変換できない生徒には既習の表現で言えないか助言する。	作文の内容や展開を工夫して自分なりに書くことができる。 【ア-、イ-】 A アイディアから日本語の原稿を作り、辞書や教科書からふさわしい単語や表現を見つけて書いている B 基本例のフォーマットに単語を当てはめて、自分なりに書いている。 (観察)(自己評価シート)(ワークシート)
10	自己評価シートで学習を振り返る。	ワークシートで内容を確認し、学習の自己評価をする。また表現の方法について発見した課題を自己評価シートに記入させる。	

1 学習目標

英文を書く場面で自分の課題を解決する  
自分の考えや気持ちを適切な英文で書く

2 準備

自己評価シート、支援プリント、ワークシート (英作文シート2)

3 展開

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 (「おおむね満足」に達していない生徒へ手だて)	学習における具体的評価規準 A「十分満足」B「おおむね満足」【単元の評価規準との関連】(評価方法)
10	英語であいさつし 前時の復習をする	前時の評価シートから、生徒が言えなかった表現について解説する。自分が使った表現をワークシートに記入させることにより書く力もつけさせたい	
30	<b>見通し2</b> 文を作るのに同じ課題同士でグループを作り学び合いながら課題を解決し、ワークシートへ英文を書く。 A 使う単語を考える。(辞書、教科書から適切な表現を見つける) B 語順を考える。(表現集を見て、まとまった語句から考える) C よりよい表現を考える。(既習の表現で言い換える)	前時の自己評価シートをもとに、単語、語順、表現について話し合いがしやすいグループを作る。 単語がわからない生徒へは英和、和英辞典を与えて調べるよう助言したり、支援プリントの作品例から自分のオリジナルになるように個別指導で変えられるところをできるだけ探すようにする。また、なるべく既習の言葉で置き換えられないか考えるようにする。 語順がわからない生徒へは文法的に違っている表現については説明する。また自分が言える文に書き換える必要があると助言する。 より良い表現を知りたい生徒へは文の接続の仕方を提示したり、文を区切ったり切り離して2つの文にしたりする方法を示す。また、読者にわかるようにするには既習の表現で表すことの大切さを指導する。 自己評価シートに言いたかったが言えなかった表現も記録させておく。	作文の内容や展開を工夫して書くことができる。 【イ-、エ-】 A グループで話し合いながら自分の課題を解決し作文の内容や展開を工夫して書くことができる。 B 支援シートの作品例から自分のオリジナルになるように内容や展開を工夫して書くことができる。 (観察)(自己評価シート)(ワークシート)
10	自己評価シートで学習を振り返る。	ワークシートで学習内容を確認し、学習の自己評価をする。また表現の方法について発見した課題を自己評価シートに記入させる。	

1 学習目標

自分の考えや気持ちを適切な英文で書き、書いたものの表現を見直して英文を完成させる

2 準備 自己評価シート、支援プリント、ワークシート (英作文シート3)

班員のワークシートのコピー、ストップウォッチ

3 展開

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 (「おおむね満足」に達していない生徒へ手だて)	学習における具体的評価規準 A「十分満足」B「おおむね満足」【単元の評価規準との関連】(評価方法)
5	英語であいさつし 前時の復習をする	前時の評価シートから、生徒が言えなかった表現について、共通した部分などを解説する。	
20	お互いできあがった作品をコピーをして渡し読み比べ、理解できるかどうか、よりよい表現はないかなど意見を出しコピーした作品に記入し本人に手渡すようにする。(一人4分、ストップウォッチで計測する)	「書く」活動にグループ学習を取り入れて、学び合う場面を作り出す。相手の文にアドバイスを与える場面ではより分かりやすくするため、どうしたらよいかを考えさせる。またお互いを意識することによりコミュニケーションにつなげたい。 どうしても改善点が見つからない場合は、自分が真似して使ってみようと思う良いところを見つけて前向きな評価を与えさせたい。	読んだことについて感想や意見を述べようとしている。 【ア- 】 A 相手の良いところや改善点を複数相手に伝えようとしている。 B 相手の良いところや改善点を伝えようとしている。 (観察)(自己評価シート)(ワークシートのコピー)
15	アドバイスの書かれた作品のコピーをもとに推敲、清書する。	「ふりかえりシート」の変容を追いながら、生徒の課題を把握し、個に応じた支援を与え、出来たことに対して前向きな評価を与えるようにする。  既習の英語を使って相手に伝わる英文を書くよう助言し、推敲のヒントにする。 支援プリントの作品例を自分の文にかえたりしながら英文を書くための適切な表現を示す。	相手に伝わるように、わかりやすい表現を用いて書くことができる。 【イ- 】 A 自分の言い足りないことや友だちのアドバイスに気をつけて質、量ともによりよい文を書いている B 相手にわかる表現で書いている (観察)(自己評価シート)(ワークシート) 英文を書くための適切な表現を知る。 【エ- 】 A グループで話し合いをヒントにし、適切な言語表現に自ら気づく。 B 支援シートの作品例や教師の支援から英文を書くための適切な表現を知る。(観察)(自己評価シート)(ワークシート)
10	自己評価シートで学習を振り返る。	自己評価シートで内容を確認し、学習の自己評価をする。	

1 学習目標

自分の考えや気持ちを友だちと理解し合い相互に評価しあう  
伝えることの楽しさを知る

2 準備 ワークシート、感想用紙(付箋紙)、自己評価シート、発表の仕方・話し合いの仕方を説明した用紙、

3 展開

時間	学習活動	指導上の留意点( )及び支援の工夫 (「おおむね満足」に達していない生徒へ手だて)	学習における具体の評価規準 A「十分満足」B「おおむね満足」【単元の評価規準との関連】(評価方法)
10	英語であいさつ	不定詞を用いた質問に答えさせる。	
20	<p><b>見通し3</b></p> <p>発表の仕方について教師のデモンストレーションを見て、説明を聞く。</p> <p>自分の原稿を読む練習をする</p> <p>グループ内で作品の発表をし、お互いの作品について評価し合う。</p> <p>付箋に感想を書いて自己評価シートに貼る。</p>	<p>違うトピックを選んだ者同士でグループを作る際になるべく今まで組んでいない生徒と組むようにする。</p> <p>教師が発表の仕方についてデモンストレーションをして、発表のポイントを示す。</p> <p>声の大きさや発音よりも、作文の内容がわかり易かったかどうかを聞き取るよう助言する。</p> <p>相手にわかってもらうようにややゆっくりなスピードで読むように助言する。</p> <p>うまく読めないときにはカタカナをふってでも伝えられた達成感を味わうようにする。</p> <p>発表のわからなかったり聞き取れなかったりした文は聞き直しをするよう伝える。どうしてもわからない時は概要を説明してもらう。</p> <p>発表者には自分の発表の感想を書くようにする。</p> <p>自己評価シートに感想を書く際には良かったところを中心に書くように助言する。</p> <p>自分がかんばったこと、覚えた文を中心に書くようにする。</p>	<p>学習における具体の評価規準 A「十分満足」B「おおむね満足」【単元の評価規準との関連】(評価方法)</p> <p>理解を容易にするために相手を見て話したり、くり返したりして伝えるなどの工夫をしている。</p> <p>【ア-、イ-、エ-】</p> <p>A 相手を見たり、強調したりして工夫をしている。</p> <p>B わかりやすい速度と音量で発表している。</p> <p>(発表の観察)(自己評価シート ~ )</p>
20	<p>学習の取組について振り返り、学習の成果と課題を確認し、英語で表現することの楽しさに気づく。</p>	<p>自己評価シートに感想を書く際には良かったところを中心に書くように助言する。</p> <p>自己評価シートに感想を書く時間を十分に与える。</p> <p>自分がかんばったこと、覚えた文を中心に書かせる。</p>	<p>英語で書いて伝えることの楽しさを理解する。【ア-】</p> <p>A 英語で表現する楽しさについて具体的に感想が述べられていて、自分の課題を解決するためにどう生かせるかを見つけている。</p> <p>B 英語で表現する楽しさについて具体的に感想が述べられている。</p> <p>(発表の観察)(自己評価シート ~ )</p>

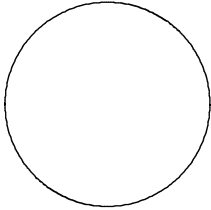
資料 4 (1) 吉岡中学校におけるワークシート(検証にかかわる5時間分)  
ワークシート No.3 (第5時)

自分の思いを書いて伝えよう!

class( ) name ( )

自分の頭で考え、組み立て、文字にしよう

ウェビング 分かる単語は英語で書いてみよう。



ウェビングの単語をつなげてメモ書きしてみよう。英語と日本語が混ざっていいよ。

#### アイデアのヒント

- ・ウェビングは気楽に書こう! どこにでもアイデアは転がっているよ。
- ・なりきりで書くと結構アイデアがでるよ!
  - 夢 「彩」の気持ちになって・・・
  - 「アメリカに行って、感謝祭のパレードを見てみたい。そして・・・」
  - 「レポーターになって、世界を駆けめぐりたい。そのために・・・」



自分の思いを書いて伝えよう!

class ( ) name ( )

Example

- 1 あいさつ
- 2 書く内容について予告
- 3 自分が一番伝えたいこと
- 4 1つ目の理由・説明(体験を入れると良い)  
2つ目の理由・説明(体験を入れると良い)  
最後の理由・説明(3つ以上ある場合)
- 5 結びの言葉(ここもアイデア)



自分で考え、組み立て、文字にしよう

A large rectangular area with a dashed border, intended for writing. It contains several horizontal dashed lines to guide the student's writing.

・不定詞の文が入っているかな?

・話の内容がうまくつながっているかな?

自分の思いを書いて伝えよう！

class ( ) name ( )

ポイント

- ・伝えることを考えて、知っている単語や表現を使おう。
- ・ワークシート No.4 に書いたものから、もう少し文を付け足して、理由や説明の文を増やしてみよう。
- ・10文以上書けるようがんばろう！



自分で考え、組み立て、文字にしよう

A large rectangular area with a dashed border, containing ten horizontal dashed lines for writing.

- ・班の友達からのアドバイスを参考に、清書を完成させよう。
- ・次の授業はいよいよ発表です。読めない単語や難しいところはお互いに練習し合おう。

ワークシート No. 6 (第8時)

作品の発表会をしよう!

class ( ) name ( )

A large rectangular area with a dashed border, containing horizontal dashed lines for writing. In the bottom right corner, there is a cartoon illustration of a boy with brown hair, wearing a light blue shirt and green overalls, holding a large white sheet of paper.

(2) 吉岡中学校における自己評価シート(検証にかかわる5時間分)

自己評価シート No.5 (第5時)

## 学習の振り返りをしよう!

class ( ) name ( )

What's your group number? ( )班

### 1 今日の活動のめあてを確認&チェックしよう。

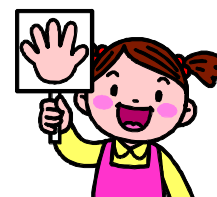
意欲	A トピックについて書きたいことをイメージし、自分のアイデアを出してウェビング作りがほとんどできあがる。	B グループで協力してトピックについてアイデアを出し合い、ウェビング作りが半分以上すすめられる。	C アイデアがなかなか出かばず、ウェビング作りがうまくいかない。
	A ウェビングの中に英単語または英語の語句が半分以上使える。	B ウェビングの中に英単語が1/3くらい使える。	C ウェビングに英単語が使えない。

### 2 今日の活動を振り返って。

・作文にぜひ入れてみたい文や単語(日本語でもO.K.「~したい」「~するため」「~すること」を中心に考えよう)

・うまくできなかったこと、疑問に思ったこと

Teacher's advice こんなところが良かったよ!次はこうするといいよ!



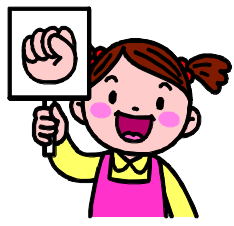
1 今日の活動のめあてを確認&チェックしよう。

意欲	A 自分のアイデアを生かしてウエビングから 10 文程度の日本語・英語まじりの原稿ができる。	B グループで協力してアイデアを出し合って、5~8 文の日本語・英語まじりの原稿ができる。	C 表現のプリントの例文を参考に 5 文程度の日本語の原稿ができる。
	A 自分で辞書や教科書から、言いたいことを表す単語や語句を見つけられる。	B グループで協力したり、表現のプリントの例文をもとに、使いたい単語や語句を見つけられる。	C 表現のプリントの例文の単語を自分の言葉に置き換えている。

2 今日の学習の振り返りをしよう。

<p>・うまく英語に直せなかった文・疑問に思ったこと</p>
<p>・自分の課題はどれ? 番号に をつけよう。(一番課題になるものひとつに )</p> <p>使う単語がよく分からない</p> <p>単語の順番がよく分からない</p> <p>もっといい表現を知りたい</p> <p>その他課題に思ったこと</p>

Teacher's advice こんなところが良かったよ!次はこうするといいよ!



今日はグループが変わったよ!

Group ( )班


1 今日の活動のめあてを確認&チェックしよう。

表現	A 表現プリントやグループでの助言を参考に、習った表現や不定詞や接続詞を使って伝わる文で書いている。	B 表現プリントやグループでの助言を参考に、習った表現や不定詞の文を使って書いている。	C 知っている単語に置き換えて例文からオリジナルの文を書いている。
知識理解	A 自分の言いたいことを英語に直すのに、今までに習ったどの表現を使えば良いかが自分で分かる。	B 自分の言いたいことを英語に直すのに、今までに習ったどの表現を使えば良いか、友達や先生に聞いて分かる。	C 自分の言いたいことを英語に直すのに、どうい英語を使えば良いかがまだ分からない。

2 今日の活動の振り返って。

・うまく英語に直せなかった文・疑問に思ったこと

Teacher's advice こんなところが良かったよ!次はこうするといいよ!




1 今日の活動のめあてを確認&チェックしよう。

意欲	A 友達の作文を読んで、良いところや改善点、疑問点を2つ以上書いたり言ったりしている。	B 友達の作文を読んで、良いところや改善点、疑問点を伝えられる。	C 友達の作文を読んでも意味が分からない。
表現	A 友達の助言から作文を手直して、自分の思いを表す英文が10文程度書ける。	B 友達の助言から作文を手直して、自分の思いを表す英文が7文程度書ける。	C 友達の助言からグループの人に聞いて、自分の言いたいことを表す英文が5文程度書ける。
知識理解	A 自分の言いたいことを英語に直すのに、今までに習ったどの表現を使えば良いか友達や先生に聞いて分かる。	B 自分の言いたいことを英語に直すのに、今までに習ったどの表現を使えば良いか、プリントの表現を参考にして分かる。	C 自分の言いたいことを英語に直すのに、どういう英語を使えば良いかがまだ良く分からない。

2 今日の活動の振り返りをしよう。

うまく伝わらなかった英文

Teacher's advice こんなところが良かったよ!次はこうするといいよ!  
(次はいよいよラストです。がんばれ-!)



## 学習の振り返りをしよう!

class ( ) name ( )

今日はグループが変わったよ!

Group ( )班

### 1 今日の発表についてめあてを確認&チェックしよう。

表現	A 相手のほうを見て、自分の気持ちを含めて、ちょうどいい速さと音量で伝えたいことを強調して発表できる。	B 相手が聞き取りやすいようにちょうどいい速さや音量で発表できる。	C スラスラとはいかなかったが単語の発音に気をつけて発表できる。
意欲	A 発表活動を通して、自分の書いた作品を伝えることの楽しさを感じられ、学習にやる気ができた。	B 発表活動を通して、自分の書いた作品を伝えることの楽しさを感じられる。	C 発表活動では、自分の作品を伝えることの楽しさを感じられない。

### 2 友達の感想メモを貼っておこう。

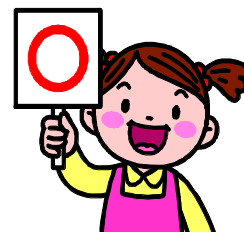
From( )	From( )
From( )	From( )
From( )	From( )
・発表したあなたの感想(書き取り、読みで工夫したところ・苦労したところなど)	
・この学習全体を通しての感想、自分の取組についての反省や課題	



## 2 話し合いが終わったら記入しよう。

<p>・ウェビングの感想</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウェビングは自分の書きたいことを具体的にするのに役に立った。</li> <li>2 ウェビングはまあまあ役に立った。</li> <li>3 ウェビングはあまり役に立たなかった。</li> </ol>	<p>・グループ活動についての感想</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 グループで教え合ったり発表し合うことは英文を書くことに役立った。</li> <li>2 グループで教え合ったり発表し合うことは英文を書くことにまあまあ役に立った。</li> <li>3 グループ活動はあまり役に立たなかった。</li> </ol>
<p>・自己評価シート（黄色のシート）について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 A,B,C をつけたり疑問点を書くことは自分の学習をふりかえるのに役に立った。</li> <li>2 自己評価シートは自分の学習のふりかえりにまあまあ役に立った。</li> <li>3 自己評価シートはあまり役に立たなかった。</li> </ol>	<p>・自己評価シートに書かれた先生のアドバイスはあなたの疑問や英文作りに対して適切でしたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アドバイスは自分の疑問に役に立った。</li> <li>2 アドバイスはまあまあ役に立った。</li> <li>3 アドバイスはあまり役に立たなかった。</li> </ol>
<p>・自己評価シートに書かれた先生のアドバイスを次の授業の時にいかすことができましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アドバイスをいかして学習できた。</li> <li>2 だいたいの場合アドバイスをいかして学習できた。</li> <li>3 アドバイスをあまりいかせなかった。</li> </ol>	<p>・英文を作るときに分かりやすい表現が使えましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 習った文を使って書けた。</li> <li>2 ところどころに難しい表現があった。</li> <li>3 自分でもよく分からない表現があった。</li> </ol>
<p>・英文を発表するときに読み方を工夫できましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 相手にわかりやすいように声の大きさやスピード、強調するところなど気をつけた。</li> <li>2 声の大きさとスピードは気をつけた。</li> <li>3 あまり工夫できなかった。</li> </ol>	<p>・自分の書いた英文が相手に伝わるのは楽しいですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 とても楽しい。</li> <li>2 まあまあ楽しい。</li> <li>3 あまり楽しくない。</li> </ol>
<p>・自己評価シートを使ったふりかえり学習の感想</p>	<p>・「書くこと」についてあなたのこれからの課題</p>

Teacher's advice こんなところが良かったよ！次のレッスンでもがんばってね。



(3) 吉岡中学校における表現のプリント(検証に関わる部分の抜粋)

表現のプリント No.5 (第6時)

自分の思いを書いて伝えよう!

「夢」に関する表現

「～になりたい」と言うとき・・・職業などはこう言います

・先生 teacher	・美容師 beautician	・芸術家 artist
・科学者 scientist	・音楽家 musician	・商店主 shopkeeper
・医者 doctor	通訳 interpreter	・公務員
・プログラマー programmer	・イラストレーター illustrator	government worker
・看護師 nurse	漫画家 cartoonist	・歯医者 dentist
・警察官 police office	・タレント TV star	・ニュースキャスター newscaster
・パイロット pilot	・俳優 actor	・ゲーム作家 video game creator
・デザイナー designer	・女優 actress	・農場主 farmer
・シェフ chef	建築家 architect	・～の選手 ~ player
・菓子職人 patisserie	作家 writer	・トリマー trimmer
・歌手 singer	・声優 voice artist	・ピアニスト pianist
・弁護士 lawyer	保育士 a kindergarten teacher	・プロの～ professional
・花屋 florist		

夢について書くのに役立つ表現

・私は～になるつもり	I'll be(become) ~
・私は～になりたい	I want to be ( become ) ~
・私は～するつもりです	I'm going to ~ / I'll ~
・私は～できる	I can ~
・私は～しなければならない	I must ~
・私は・・・するために～しなければならない	I must ~ to .
・私はこう思いますが・・・	I think that . . . .
・たとえば、(例)	For example,
・まず最初に(理由)	First,
・もしも(実現した時のこと)	If ~ ,
・ところで(話題を変える)	by the way
・あなた達はどうですか?	How about you ?
・なぜなら～	Because ~

空欄を埋めて練習してみよう。

Hello, everyone.	みなさん、こんにちは。
I will write about my dream.	僕の夢について書きます。
I want to be (become) a (                    ).	僕は(                    )になりたいです。
Do you know why ?	どうしてだと思いますか。
First, I like to (                    ).	第一に、(                    )することが好きだから
Second, I can (                    ).	次に(                    )ができるから。
I must (                    ) to be a (                    ).	(                    )になるために(                    )しなければならない
It is difficult to be (become) a (                    )	(                    )になることは難しい。
But I will (                    ).	でも僕は(                    )するつもりです。

自分の思いを書いて伝えよう！ ~ Japanese Event ~

Example

- 1 あいさつ
- 2 紹介したい行事について予告
- 3 その理由を説明
  - ・説明には体験を入れると良い
  - ・2つ以上書けると説得力がある
- 4 思い出や特徴などを説明
- 5 あなたの考え、まとめ

- 1 Hello, everyone.  
I will write about Japanese Event.
- 2 I want to write about Tanabata.
- 3 First, -----  
Second, -----
- 4 I think -----
- 5 Tanabata is -----

自分で考え、組み立て、文字にしよう

1 Hello, everyone.

I will write about Japanese Event.

2 I want to write about Tanabata.

3 Tanabata story is ロマンティック and おもしろい

I like 星や星座の話 story of stars and 星座

4 小さいとき、天の川に行ってみたかった。

子どもの時、When I was a child,

行ってみたかった wanted to go 過去形にする

5 その話は中国から来た。 come from China

ヒント

まず日本語と英語を混ぜた状態で、思いつく文にしてみよう。  
そこから自分で言えそうな文と、難しい文を自分で分けてみよう。  
キャンディス先生に、説明するつもりで書くとうまくいくよ。

(4) 笠懸南中学校におけるワークシート(検証にかかわる5時間分)

## ワークシート⑤-1 2年 PROGRAM 6

思いを書いて伝えよう Class ( ) No. ( ) Name ( )

**TASK 1** ウエビングで書くことのイメージをふくらまそう。

班の中でそれを回して班の他の人のウエビングに自分が思いついたことを付け足してあげてください。

班の人のアイデア (色を変えて付け足してください)			
Name	Color	Name	Color

**TASK 2** ウエビングをもとに構想メモを作ろう。

<b>構想メモ</b>	
一番伝えたいこと	
.....	
その理由	
.....	
自分の考え	
.....	
自分との関係	
.....	

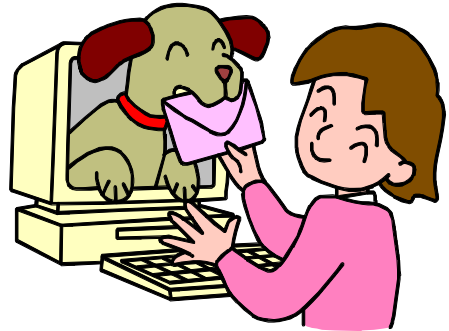
# ワークシート⑤-2 2年 PROGRAM 6

思いを書いて伝えよう Class ( ) No. ( ) Name( )

**TASK 3** 構想メモから日本語で作文してみよう。

Example

- 1 書く内容についての予告
- 2 自分が一番伝えたいこと
- 3 ・ 1つ目の理由・説明（体験を入れると良い）  
・ 2つ目の理由・説明（体験を入れると良い）  
・ 最後の理由・説明（3つ以上ある場合）
- 4 理由や説明から思ったことや考えを述べる。
- 5 結び（5をもとに自分の伝えたいことを書く）



**自分で考え、組み立て、文字にしよう**

A large rectangular area with a dashed border, intended for writing. It contains several horizontal dashed lines to guide the student's writing.

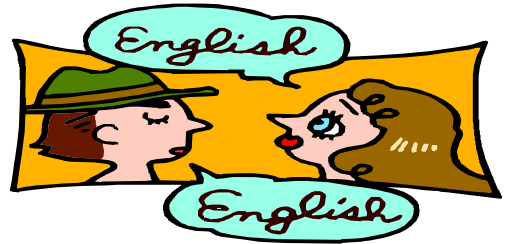
# ワークシート⑥ 2年 PROGRAM 6

思いを書いて伝えよう Class ( ) No. ( ) Name( )

ポイント

**TASK 1** 前時に作成した日本語にさらに付け加えよう。

**TASK 2** 日本語で作文したものを英語にしてみよう。分からないところは日本語でいいよ。



## 英作文 1

A large rectangular area with a dashed border, intended for writing. It contains ten horizontal dashed lines to guide the student's writing.

# ワークシート⑦ 2年 PROGRAM 6

思いを書いて伝えよう Class ( ) No. ( ) Name( )

ポイント

**TASK 1** 自分の課題をいろいろな方法で解決しよう。

**TASK 2** 相手に伝えることを考えて、なるべく既習の表現を使おう。



## 英作文

Blank writing area with horizontal dashed lines for English composition.

(5) 笠懸南中学校における自己評価シート(検証にかかわる5時間分)

## 自己評価シート⑤ 2年 PROGRAM 6

思いを書いて伝えよう Class ( ) No. ( ) Name ( )

What's your topic? My topic is ( )

Group No. ( ) Members ( )

1 今日の学習のめあてを確認&チェックしよう。

### 【今日の活動内容】

思いを書いて伝えよう(その1)  
自分の考えや気持ちを明確化する  
自分の考えや気持ちをもとに日本語で文を作る

### 【今日の学習の評価のめやすと学習結果】

	3点	2点	1点	合計
英語であいさつ ができた	Good morning, ~. How are you? 以 外に2つ以上表現を使って会話がで きた	Good morning, ~. How are you? 以外に1つ表現を使 って会話ができた	あいさつの決まった 表現だけしか使わな かった	
ウェビングでイ メージを作ろう	ウェビングで4つ以上単語がかけ、 他の人のウェビングに前向きで伝え そうなアイデアを出せた	ウェビングで4つ以上単語 が書けた	ウェビングで3つま で単語が書けた	
構想メモを作る う	自分の書きたいものが構造化できた	自分の書きたいものが2つ 以上書き出せた	自分の書きたいもの が1つは書き出せた	
構想メモから日 本語で作文して みよう	理由以外に自分との関係や自分の考 えを加え10文以上の原稿ができた	理由が2つ以上書け、8文 以上の原稿ができた	理由が1つは書け、 5文以上の原稿がで きた	

2 今日の学習を振り返って

・今日の授業で分かったこと

・作文にぜひ入れてみたい文や単語(日本語でもOK)

・今日の学習でよく分からなかったところ

TEACHER'S ADVICE



# 自己評価シート⑥ 2年 PROGRAM 6

思いを書いて伝えよう Class ( ) No. ( ) Name ( )

1 今日の学習のめあてを確認&チェックしよう。

## 【今日の活動内容】

思いを書いて伝えよう(その1)

自分の考えや気持ちを明確化して英文を書く

英文を書く場面で自分の課題を見つける

## 【今日の学習の評価のめやすと学習結果】

TASK	3点	2点	1点	合計
前時に作成した日本語に今日持参した資料等でさらに付け加えよう	資料等でさらに付け加え、10文以上の原稿ができた	資料等でさらに付け加え8文以上の原稿ができた	資料等でさらに付け加え5文以上の原稿ができた	
英語にしてみよう(日本語混じりでOK)	辞書や教科書からふさわしい単語や語句を見つけることができた	例文などをもとに単語や語句を見つけることができた	例文の単語を自分の言葉に置き換えることができた	
課題の発見	課題を2つ以上発見でき、さらに解決方法まで考えた	課題を2つ以上発見できた	課題を1つ以上発見できた	

2 今日の学習を振り返って

・今日の授業で分かったこと

・作文にぜひ入れてみたい文や単語(日本語でもOK)

・今日の学習でよく分からなかったところ

あなたの課題は?

- A 使う単語が分からない。
- B 語順が分からない。
- C もっと良い表現を知りたい。
- D その他

[ ]

TEACHER'S ADVICE



# 自己評価シート⑧ 2年 PROGRAM 6

思いを書いて伝えよう Class ( ) No. ( ) Name ( )

1 今日の学習のめあてを確認&チェックしよう。

## 【今日の活動内容】

自分の考えや気持ちを相手に伝わる英文で書く  
書いたものの表現を見直して英文を完成させる


## 【今日の学習の評価のめやすと学習結果】

TASK	3点	2点	1点	合計
友達の作文を読んで、相手の良いところや改善点を作者に教えてあげよう	友達の作文を読んで、相手の良いところや改善点を2つ以上作者に教えた	友達の作文を読んで、相手の良いところや改善点を作者に教えた	友達の作文を読んで、感想は伝えられた	
友達のアドバイスをもとに自分の言いたいことを表す英文を書く	友達のアドバイスをもとに自分の言いたいことを表す英文が10文以上書ける	友達のアドバイスをもとに読んだ人がわかる表現で7文以上清書できた	友達のアドバイスをもとに手助けを受けながら5文以上清書できた	
音読練習をしよう	自分の言いたいことが相手に伝わるよう工夫して読めた	英語の発音の特徴をとらえて、つかえずにスムーズに読めた	つかえずにスムーズに読めた	

2 今日の学習を振り返って

- ・うまく伝わらなかった英文とその理由
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ・疑問に思ったこと、今日の課題だと思ったこと

TEACHER'S ADVICE



# 自己評価シート⑨ 2年 PROGRAM 6

思いを書いて伝えよう Class ( ) No. ( ) Name ( )  
 今日グループが変わったよ！ Group No. ( )  
 Members ( )

1 今日の学習のめあてを確認&チェックしよう。

## 【今日の活動内容】

自分の考えや気持ちを友達と理解し合い相互に評価し合う  
 伝えることの楽しさを知る

## 【今日の学習の評価のめやすと学習結果】

TASK	3点	2点	1点	合計
完成した英文を相手に分かるように発表する	相手に分かりやすいように気持ちを込めて、ちょうど良い速さと音量で発表できた	相手に分かりやすいよう速さや音量に注意して発表できた	スラスラとはいかなかったが単語の発音に気をつけて発表できた	
友達の発表を聞いて思ったことを書こう	発表がしっかり理解でき、発表のよかったところや参考にしたいところを2つずつ以上書けた	発表の内容がだいたい理解でき、発表の良かったところや参考にしたいところを1つずつ書けた	友達の発表を聞いたが内容がよく分からず、感想もあまり書けなかった	

2 作文の感想メモを貼っておこう


3 発表したあなたの感想（工夫したところ・苦労したところ）

- 4 全体の学習を振り返ってみよう。 3 (大変良い) 2 (だいたい良い) 3 (いま一歩)
- ウェビングで友達と協力してイメージが作れた。 3 - 2 - 1
- 文の構造を考えながら日本語混じりの英文が書けた。 3 - 2 - 1
- 日本語混じりの英文を書くときに先生のアドバイスやコメントは役に立ったか。
- 3 - 2 - 1
- 辞書を使ったり友達や先生に聞いたり、支援シートなどを使って英文にできた。
- 3 - 2 - 1
- 相手に伝えることを考え習ったわかりやすい表現を使った。 3 - 2 - 1
- 英文を完成する時に先生や友達のアドバイスや支援シートは役に立ったか。 3 - 2 - 1
- 相手に伝わるよう読み方を工夫できた。 3 - 2 - 1
- 書いた英文が相手に伝わることは楽しい。 3 - 2 - 1

5 話し合いが終わったら記入しよう。

<p>・ウェビングの感想。(どのくらいイメージができましたか)</p>	<p>・グループ活動はどうでしたか。(英語についての教え合いはどうでしたか)</p>
<p>・ワークシートはどうでしたか。(使いやすかったですか)</p>	<p>・支援シートはどうでしたか。(英文の書き方など役に立ちましたか)</p>
<p>・評価シートはどうでしたか。(反省を書くことや先生のアドバイスは役に立ちましたか)</p>	<p>・振り返り学習についての感想。(自己評価シートを見てどんなことが分かりますか)</p>
<p>・この学習全体を通しての感想、「書くこと」についての取り組みの反省と課題</p>	
<p style="text-align: center;">C L A S S    N o .    N a m e</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>TEACHER'S ADVICE</p>	

(3) 笠懸南中学校における表現のプリント(検証にかかわる部分の抜粋)

## 支援プリント③

5時間目 例文集

TASK 3 日本語から英文にしてみよう。

Example

- 1 書く内容についての予告
- 2 自分が一番伝えたいこと
- 3 ・ 1つ目の理由・説明(体験を入れると良い)  
・ 2つ目の理由・説明(体験を入れると良い)  
・ 最後の理由・説明(3つ以上ある場合)
- 4 理由や説明から思ったことや考えを述べる。
- 5 結び(5をもとに自分の伝えたいことを書く)

テーマ

## 「体験活動について」

### 自分で考え、組み立て、文字にしよう

- 1 書く内容についての予告

I'll write about wheelchair. I helped my neighbor, Mr.

four years ago.

- 2 自分が一番伝えたいこと

I think our town is not good for wheelchair.

- 3 ・ 1つ目の理由・説明

A lot of things were blocking the wheelchair on the street.

We never noticed them when we we were walking.

bicycles were in the way.

- ・ 2つ目の理由・説明

The other day, Mr.Yamada said, " Will you please take

me to my friend's house? " But we had to slow down.

That is a hill.

- 4 理由や説明から思ったことや考えを述べる。

I want to make a good town to live with all people.

- 5 結び(5をもとに自分の伝えたいことを書く)

So we have to think more .

# 支援プリント④

## 便利な表現集（こんな時にどう言うの）

### 1 書く内容についての予告するとき。

～について書こうと思います。 I will write about ~

### 2 自分が一番伝えたいことを述べるとき。

私は～になりたい。 I want to be a ~

私の夢は～です。 My dream is to be a ~

私のおすすめの～は My recommendation for ~ is

あなたは～を知っていますか。 Do you know that ~

### 3 理由・説明を述べるとき。

なぜなら～ Because ~

だから～ So ~

～に目覚めた I awoke to ~

～と思いました。 I thought ~

彼は～と言った。 He said that ~

私は～に行ったことがある。 I have been to ~

～には・・・がたくさんある。 There are lots of ... in ~

私が～の時 When I was ~

つなぎ言葉 Then, (次に、それから) After that (その後で)

First, (まず初めに) Second, (次に) Finally, (最後に)

Moreover (そのうえ) However (しかしながら)

### 4、5 理由や説明から思ったことや考えを述べたり、自分の伝えたいことを述べるとき。

それはわたしのあこがれです。 It is my dream.

～と思っています。 I think ~

私は～に・・・してもらいたい。 I want ~ to ...

私は～したい。 I want to ~, I'd like to ~

私は～ということに気づいた。 I realized that ~

私は～に・・・を伝えたい。 I want to tell ~ that ...

私は～に人生を懸けてみたい。 I want to spend my life for ~